

事業実績シート

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算				
事業費（円）		695,739	703,800	654,069				
(財源内訳)	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他	145,239 (市文化国際交流基金) 10,500 (参加者負担金)	150,800 (市文化国際交流基金) 10,000 (参加者負担金)	220,569 (市文化国際交流基金) 8,500 (参加者負担金)				
	市町振興共同事業助成金	540,000	543,000	425,000				
	一般財源							
成果(活動)指標	指標名		指標設定の考え方	単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	国際交流イベントの来場者数	イベント会場に来場することで、市民が異文化を理解するきっかけができると考えられるため。	人	目標	617	679	867
					実績	741	850	971
				目標達成率(%)	120.1	125.2	112.0	
	②	国際交流員による出前講座(月例、出前等)の参加者数	講座を受講することで、市民が異文化を理解するきっかけができると考えられるため。	人	目標	2,087	2,115	2,144
					実績	3,215	2,932	2,380
目標達成率(%)				154.0	138.6	111.0		

3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 公共性評価		必需 (+) 私益 (-) 公益 (+) 選択 (-)
	(公益性)	(必需性)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 広く社会に利益をもたらすサービス <input type="checkbox"/> 特定の個人又は集団のためのサービス <input type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	<input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠なサービス <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠ではないサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	
(2) 行政関与の妥当性評価		(3) 廃止又は休止した場合の影響	
妥当性低い 妥当性高い (-) 0 (+) 		(影響内容、程度等) 市民が気軽に国際交流を体験する機会がなくなり、国際交流につなげることができなくなる。	

事業実績シート

4 有効性の点検、効率性の点検

有効性の点検	(1) 成果(活動)指標の達成状況		(左記結果となった理由)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標を下回った		積極的に周知を行ったことで、小・中学校での講座受講者数が安定して多かったため。	
	(2) 成果(活動)指標を向上させるため、事業内容や実施方法を工夫する余地			
	<input type="checkbox"/> 工夫の余地はない <input checked="" type="checkbox"/> 工夫の余地がある 実施予定日 H30～	(工夫の内容・工夫の余地がない理由) 出前講座の内容をより充実させることや、積極的に周知を図ることで、市民が異文化に触れる機会がさらに増加すると考えられる。		
効率性の点検	(3) 類似事業との統合		(統合可能性のある類似事業名、統合不可能な場合はその理由)	
	<input type="checkbox"/> 類似する事業と統合可能 <input checked="" type="checkbox"/> 類似する事業はあるが、統合不可能 <input type="checkbox"/> 類似する事業はない		国際交流イベントについては、(公財)長崎県国際交流協会が実施している「国際交流・協力フェスティバル」と内容が酷似しているが、目的の違い等があり、両者での協議の結果統合しないこととなった。	
	(1) 民間委託化等の妥当性評価		(具体的内容)	
<input type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務はない				
(2) 受益者負担の適正化等による歳入確保		(判断理由と可能な歳入確保内容)		
<input checked="" type="checkbox"/> 既に受益者負担の見直し等で歳入確保を実施済み <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等で歳入確保は可能 <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等での歳入確保は困難		・出前講座にかかる会場使用料や材料費は依頼者が負担することとしている ・料理講座では材料代として参加料を徴収している		

5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了(完了)	■現状維持
実施(予定)時期					
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> サービス水準低下	<input type="checkbox"/> サービス水準向上	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		■現状維持
実施予定時期					
効率性の点検から	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 広告料収入等の新たな歳入の確保	■現状維持
実施予定時期					
具体的内容					